

分野：A

(総合的な学習の時間)

環境アドバイザー

足立 圭子

対象 所沢市立宮前小学校

5年(73人)

所要時間



2時間

場所 北中・水野の森

実施時期

令和2年10月14日

概要

ゴミ袋の有料化の話し合いから、地球規模の環境問題を学び、地域の自然を知るために、県景観地に指定されている北中・水野の森（おおたかの森）に入る。秋の生きものを探しながら資材置き場と残土置き場などを見て歩く。

プログラムの
ねらい

地球規模の環境問題を学び、地域で何が起きているかを知るため、宮前小学校から徒歩10分にあるおおたかの森の「北中・水野の森」の自然の状況を観察する。資材置き場や残土置き場などの開発で失われた現状を見て、これからどうしたら守れるのかを考え話し合う。

プログラムの内容

1 学校から徒歩(10分)

秋の森を観察しながらおおたかの森へ

2 スズメバチへの対応の仕方を説明(5分)

3 ヤマウルシの見分け方を説明する(5分)

4 森の探検(80分)

市民が購入した「おおたかの森」と県と所沢市が公有地化した森の生きものたちを傷つけないよう注意深く探検する。

5 資材置き場や残土置き場などの開発で失われた現状を見る。

6 質問と感想(10分)

気が付いたことと感じたことを話す。

7 徒歩で学校に帰る(10分)



受講者の反応

明るい森と暗い森があったが、生きものにとっては両方必要なことが分かった。

森の中にバイクが捨ててあったのでびっくりした。

毎月ゴミ拾いをしてきているのでゴミが少なかった。

鳥の声が聞こえたが姿を見つけることはできなかった。

大きな資材置き場と山のように積まれた残土置き場にはびっくりした。そして残念だった。

学校の近くにこんな素敵な森があることに驚いた。クワガタが見つかった。

環境学習の様子（写真） ※表面に写真を掲載している場合は不要

